



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 新京成電鉄株式会社

コード番号 9014 URL <https://www.shinkeisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞下 幸人

問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部主計・連結会計担当課長 (氏名) 内藤 智喜 TEL 047-389-1125

四半期報告書提出予定日 2019年11月6日

配当支払開始予定日2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,877	△0.6	1,950	△1.2	2,043	1.2	1,423	1.6
2019年3月期第2四半期	10,942	0.1	1,973	△10.5	2,018	△10.9	1,400	△10.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,003百万円 (△16.2%) 2019年3月期第2四半期 2,390百万円 (5.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	129.63	—
2019年3月期第2四半期	127.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	99,559	45,090	45.3
2019年3月期	97,942	43,278	44.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 45,090百万円 2019年3月期 43,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2020年3月期	—	17.50			
2020年3月期（予想）			—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,624	0.8	3,088	△8.2	3,361	△10.9	2,339	△12.7	213.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	11,023,228株	2019年3月期	11,023,228株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	45,059株	2019年3月期	45,039株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	10,978,169株	2019年3月期2Q	10,978,403株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

2020年3月期の個別業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,484	△1.4	2,772	△8.4	2,981	△8.4	2,080	△9.4	189.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調にありましたが、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響で、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループでは安全管理体制の更なる充実を根幹とし、引き続き全事業において積極的な営業活動を展開するとともに、経営基盤の強化および業務の効率化に努めました。

その結果、営業収益は10,877百万円（前年同期比0.6%減 65百万円）、営業利益は1,950百万円（前年同期比1.2%減 23百万円）、経常利益は2,043百万円（前年同期比1.2%増 24百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,423百万円（前年同期比1.6%増 22百万円）となりました。

これをセグメントごとに示すと次のとおりであります。

運輸業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、デジタルATS工事業や常盤平駅および松戸駅の駅舎耐震補強工事をすすめました。このほか諸施設のバリアフリー化として、前原駅の多機能トイレ新設工事、ホーム内方線設置工事およびホーム嵩上げ工事をすすめました。

鎌ヶ谷市内の連続立体交差事業につきましても、今年度中の上り線高架切替えを目指して工事をすすめてまいりました。これに先立ち、6月には新鎌ヶ谷駅に当社線専用改札口を新設いたしました。

営業面につきましても、新京成音楽フェスティバル、お笑い寄席、沿線健康ハイキング、果物狩りなどのイベントの実施、千葉ロッテマリーンズのラッピング電車の運行、「改元記念きっぷ」や行楽施設の前売り券の販売などを実施し、旅客誘致と増収に努めました。

バス事業では、環境や高齢者などに配慮した車両へと2両代替いたしましたほか、新たに車両を4両導入いたしました。船橋新京成バス株式会社は、停留所1カ所に広告付き上屋を設置し、お客さまサービスの向上に取り組みました。また、西白井線土休日ダイヤの輸送力を見直し、小室線ではふなばしアンデルセン公園へのアクセス向上を図るため土休日ダイヤの改正を行いました。松戸新京成バス株式会社は、旅客需要に対応するため牧の原線のダイヤ改正を実施するなど、利便性の向上と効率的な運営に努めました。

このほか、5月に一般社団法人千葉県バス協会や千葉県警察本部のご協力のもと、バスジャック対応訓練を両社共同で開催し、危機管理能力の向上に努めました。

なお、消費税率引き上げ相当分の適正転嫁のため、鉄道およびバス運賃の上限変更認可申請を行い、9月にそれぞれ認可され、10月1日に運賃変更を実施いたしました。

以上の結果、営業収益は8,279百万円（前年同期比1.8%増 149百万円）、営業利益は1,025百万円（前年同期比8.5%増 80百万円）となりました。

不動産業

不動産賃貸業では、8月より八千代市吉橋7街区土地の賃貸を開始したほか、空室へのテナント誘致を積極的に行い物件稼働率の維持向上に努めました。

以上の結果、営業収益は1,637百万円（前年同期比17.7%減 351百万円）、営業利益は852百万円（前年同期比11.5%減 110百万円）となりました。

その他

その他（コンビニ事業等）では、6月に新鎌ヶ谷駅に出店したほか、各種セール、ギフト等のイベントへの取り組みを強化するなど、更なる利便性と収益力の向上を図りました。このほか、「オープン型宅配便ロッカー」を五香駅東口に設置いたしました。

以上の結果、営業収益は1,020百万円（前年同期比16.5%増 144百万円）、営業利益は58百万円（前年同期比15.6%増 7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、その他の流動資産の減少等がありましたものの、有形固定資産、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,616百万円（前期比1.7%）増加し、99,559百万円となりました。

負債は、前受金の増加等がありましたものの、買掛金、借入金、未払金の減少等により前連結会計年度末に比べ195百万円（前期比0.4%）減少し、54,468百万円となりました。

純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末に比べ1,811百万円（前期比4.2%）増加し、45,090百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの実績を踏まえ、2019年4月25日発表の予想数値を変更しております。

営業収益につきましては、鉄道事業の運輸収入が好調に推移していることやコンビニ事業において増収傾向を見込んでいること等から、21,624百万円(前回予想比0.3%増)を見込んでおり、営業利益につきましても、3,088百万円(前回予想比1.3%増)を見込んでおります。

経常利益につきましては、3,361百万円(前回予想比1.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては2,339百万円(前回予想比1.6%増)を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,449,283	6,914,649
売掛金	1,294,920	1,367,777
リース投資資産	830,994	825,111
有価証券	500,000	500,000
商品及び製品	34,865	44,511
分譲土地建物	676,845	676,845
原材料及び貯蔵品	440,776	469,932
その他	586,930	257,680
流動資産合計	10,814,616	11,056,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,563,553	21,415,452
機械装置及び運搬具(純額)	4,876,528	4,645,785
土地	10,855,110	10,855,110
建設仮勘定	37,086,673	37,822,602
その他(純額)	652,048	980,944
有形固定資産合計	75,033,913	75,719,895
無形固定資産		
その他	735,916	641,591
無形固定資産合計	735,916	641,591
投資その他の資産		
投資有価証券	10,803,134	11,562,639
繰延税金資産	230,544	243,406
退職給付に係る資産	191,755	187,215
その他	132,865	147,767
投資その他の資産合計	11,358,300	12,141,028
固定資産合計	87,128,130	88,502,515
資産合計	97,942,747	99,559,024
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,147,117	742,991
短期借入金	2,899,990	2,886,930
未払金	4,125,564	2,102,695
未払法人税等	593,255	663,482
前受金	30,471,170	32,387,452
賞与引当金	485,451	487,350
その他	2,967,649	3,526,082
流動負債合計	42,690,198	42,796,985
固定負債		
長期借入金	5,236,900	4,721,700
繰延税金負債	1,236,101	1,466,322
退職給付に係る負債	3,354,347	3,370,168
その他	2,146,229	2,113,125
固定負債合計	11,973,577	11,671,316
負債合計	54,663,775	54,468,301

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,935,940	5,935,940
資本剰余金	4,774,519	4,774,522
利益剰余金	27,631,759	28,862,772
自己株式	△84,101	△84,146
株主資本合計	38,258,118	39,489,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,215,347	5,771,815
退職給付に係る調整累計額	△194,493	△170,182
その他の包括利益累計額合計	5,020,853	5,601,632
純資産合計	43,278,971	45,090,722
負債純資産合計	97,942,747	99,559,024

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益	10,942,564	10,877,046
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	8,401,547	8,353,174
販売費及び一般管理費	567,754	573,626
営業費合計	8,969,302	8,926,800
営業利益	1,973,262	1,950,245
営業外収益		
受取利息	55	105
受取配当金	40,487	50,683
持分法による投資利益	25,934	83,124
その他	45,381	17,188
営業外収益合計	111,859	151,102
営業外費用		
支払利息	66,045	57,040
その他	99	840
営業外費用合計	66,145	57,881
経常利益	2,018,976	2,043,466
特別損失		
持分変動損失	—	12,400
特別損失合計	—	12,400
税金等調整前四半期純利益	2,018,976	2,031,066
法人税、住民税及び事業税	641,160	640,850
法人税等調整額	△23,042	△32,915
法人税等合計	618,117	607,934
四半期純利益	1,400,858	1,423,131
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,400,858	1,423,131

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,400,858	1,423,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	965,338	535,945
退職給付に係る調整額	16,773	24,311
持分法適用会社に対する持分相当額	7,543	20,522
その他の包括利益合計	989,654	580,779
四半期包括利益	2,390,513	2,003,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,390,513	2,003,911
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	8,119,761	1,947,303	10,067,064	875,499	10,942,564	—	10,942,564
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	10,115	42,273	52,388	690	53,079	△53,079	—
計	8,129,877	1,989,576	10,119,453	876,189	10,995,643	△53,079	10,942,564
セグメント利益	945,325	963,093	1,908,418	50,700	1,959,119	14,143	1,973,262

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニ事業等
あります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	8,269,196	1,588,071	9,857,268	1,019,778	10,877,046	—	10,877,046
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	10,436	49,645	60,081	617	60,699	△60,699	—
計	8,279,632	1,637,716	9,917,349	1,020,395	10,937,745	△60,699	10,877,046
セグメント利益	1,025,828	852,374	1,878,202	58,608	1,936,810	13,434	1,950,245

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニ事業等
あります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。